

平成19年度日・P I F 未来創造高校生交流事業報告書

1) 滞日オリエンテーション（日本理解）

日時：平成19年10月2日（火）9：45～12：00

会場：外務省南庁舎289室

①歓迎挨拶：事業趣旨、一行への期待・・・中野外務省大洋州課地域調整官、及川 I F A 事業部長事業部長

②ブリーフィング：日程説明、質疑応答等・・・津野IFAコーディネーター

③講義：日本人理解のヒント・・・「語り継ぐ日本の心」代表 横山氏

注：I F A＝国際フレンドシップ協会（本事業委託業者）

前日来日した一行は、10月2日（火）、外務省で行われたオリエンテーションに臨んだ。外務省及びI F Aによる日程等ブリーフィングに続き、日本ならびに日本人への理解を深め日本での滞在生活のより一層の円滑化を図るために講義を実施した。ピジン語での挨拶、自身のPNG訪問時の思い出から始まった横山講師の講義は、聴く者の心をつかみ、分かりやすく英語で語る日本人の考え方や生活習慣はPNG一行の滞日理解の促進に大きな効果と意義があった。



2) 在京パプアニューギニア大使館表敬訪問（表敬）

日時：平成19年10月2日（火）14：00～15：00

会場：PNG 大使館大使室（港区三田）

マイケル・マウエ駐日PNG大使を表敬訪問し、日本・PNG関係、今後の課題、若い高校生への期待等を伺った。大使からも参加者に対し質問が投げかけられ、それぞれの言葉で自己紹介や抱負を語った。



3) 日本旅館での宿泊（日本文化、伝統、生活スタイル）

日時：平成19年10月3日（水）夕刻～10月5日（金）朝2泊3日



IFAは、来日した一行がホームステイ前に日本旅館の宿泊体験を通して日本の住宅、日本人の生活スタイルに慣れ、よりスムーズにホームステイに臨めるよう考慮した。和洋室・大浴場を備えた旅館では、全員、和室に宿泊し、布団、畳、浴衣、和食、日本式旅館の佇まいを体験。夕食前、大浴場の説明では顔を見合わせて困ったような驚いたような表情をしていたが、結果、宿泊客が少なかったこともあるが、皆、温泉が大変気に入ったようで、夜だけでなく朝も風呂につかる者が多かった。夕食は座敷で全員、浴衣と丹前姿。和食の料理もほとんどがご飯をお代わりしながらおいしそうに食べていた。

4) 那須塩原市長表敬訪問（表敬）

日時：平成19 年10 月4 日（木）09：00～09：30

旅館に一泊した一行は、一路、那須塩原市役所のある黒磯地区へ向かった。約45 分の車中、同行の市職員の説明を受けながら眼下に見え隠れする塩原溪谷や、やがて車窓に広がる牧場風景を眺めながら、懸命に日本語での自己紹介や簡単な挨拶の練習を繰り返した。

塩原市役所本庁舎では、生活環境部関係者の出迎えを受け、栗川仁市長表敬に臨んだ。市長の歓迎挨拶に続き、団長が、PNG は人口も資源も少ない、日本は人口も技術も大きい国、この機会にいろいろ学び母国に持ち帰りたい、と挨拶。続いて、参加者が覚えてたの日本語で自己紹介を行い、市長他出席者から拍手を受けた。



次に、記念品の交換の後、市長から4 日間の感想を聞かれ、数名から以下の回答があった。

- ・ 毎日、新しい経験。
- ・ PNG には電車がない。東京のメトロ、発達した交通システムに驚いた。また、山はあるが、山の中には日本のようなきれいな道路や町はない。日本人は大変フレンドリー。
- ・ 日本食がおいしい。
- ・ 植物が違う。緑がきれい。
- ・ ポートモレスビーは端から端まで歩いてもうすぐ終わるが、東京は1 時間電車に乗ってもまだ終わらない。
- ・ 日本人は時間を守るがPNG には時間の観念がない。そのことを帰国後、伝えたい。
- ・ 日本人はフレンドリー、親切、活動的。
- ・ 温泉に入り楽しかった。
- ・ 共通の生活スタイルもある。例えば、日本人は畳に座るが我々も床に直に座る習慣がある。
- ・ 市長室に極楽鳥の飾りがかけてあり、うれしい。
- ・ 景色がきれい。雑誌やテレビで見たことはあるが実際に見て本当にきれい。

最後に、市長を囲んで記念撮影をし、表敬訪問を終了した。

5) 那須拓陽高校訪問（教育、交流）

日時：平成19 年10 月5 日（金）9：00～18：30

旅館をチェックアウトした一行は、前日に続きすっきりした秋晴れの下、一路、那須拓陽高校のある西那須野地区へ向かった。全日程中の一つのハイライトとも言うべき、高校訪問・交流は一行も楽しみにしていたようで、車中では日本語の挨拶練習に余念がなく、中には自分の言いたいことを同行者に聞き、懸命に覚えようとしている者もいた。

高校に到着した一行は、まず玄関に並んだ生徒会10 数名に迎えられた後、校長室へ移動。屋代憲一校長先生から歓迎挨拶を受けた一行は練習した日本語で自己紹介を行った。一日のスケジュール説明、学校紹介ビデオ鑑賞の後、5 名ずつ2 グループに分かれて、それぞれ70 名くらい集まった生徒たちに、PNG の歴史、産業、文化、高校生活、家庭生活などを紹介した。ゆっくりした英語で持参の品や写真を示しながら話す団員もいて、生徒たちも興味深そうに聞いていた。

その後、日本の生徒から質問が出された。

Q：好きな科目は？A：数学、理科等様々

Q：好きな日本食は？A：寿司、刺身等

Q：趣味は？A：歌、スポーツ等様々

Q：将来の夢は？A：弁護士、医者、エンジニア等様々。



休憩をはさんで、調理実習見学後、隣室で浴衣の着付けを体験した。家政科の生徒が見本を示し、ずらりと並んだ浴衣から好きな柄を各自が選んで生徒に着せてもらった女子団員は皆、うれしそうな表情で互いを評価し合った。男子団員は、徐々に日本人の女の子に変身していくPNGの女子を珍しそうに、時に冷やかしながらカメラに収めていた。



着付けの次は、調理実習で作った料理を3年生40人と一緒に食べた。各テーブルでは話に花が咲き、歓声が上がったり、写真を撮り合っていた。高校生が作ったとは思えない見事な出来ばえで、チラシ寿司、パスタ、肉じゃが、サラダ、煮物、カレー、ハンバーグ他多種の品が並んだ。酪農専攻の生徒が作ったアイスクリームもいただき、皆おいしそうに食べていた。



昼食後、一行は持参した民族衣装を身につけ、歓迎集会・交流会に臨んだ。会場となった体育館に全校生徒720人および教職員の拍手の中、花道を堂々と入場。ステージに並んだ一行は、校長挨拶、団長挨拶に続き、各自、日本語で自己紹介。記念品交換後、PNG文化紹介では誇らしげに太鼓に合わせた踊り、フォークギターに合わせた歌と踊りを披露した。日本側の太鼓クラブ員による「疎水太鼓」、吹奏楽部の演奏を一行は興味深く聴いていた。



前身が農学校である同校は、現在も農業・酪農関係の学科があり、広大な敷地には農場や厩舎、牧草地が広がっている。一行も牛の餌やり体験や野菜、花、果樹園を見学。りんご園では真っ赤に熟したりんごをいでも構わないと言われ、初めての体験に興奮しながら一人2～3個ずつもいでいた。PNGではニュージーランドから輸入した小さく、価格も高いりんごしかなく、日本のりんごの大きさとおいしさに感激していた。



農場内にある大山巖記念館で茶道部の生徒がたてたお茶を味わった後、弓道部員の練習見学では弓道の真髓の解説を受ける。また、剣道部の練習では全員が竹刀を持たせてもらい、防具に身をつつんだ部員を相手に打ち込みを体験。慣れない手つきながら、数分の指導で様になってきた団員もいた。



6) ホームステイ（生活体験、交流）

期間：平成19年10月5日（金）～8日（月）3泊4日

終日に及ぶ高校訪問・交流を終えた一行は、同日夜6時、高校会議室で初めてホストファミリーと対面した。テーブルを挟んでホストと団員が対面した形で始まった対面式は、那須塩原市担当阿美氏の司会で、まず屋代校長の挨拶、シミョン団長挨拶に続き、一組ずつが順番にPNG側は日本語、ホスト側は英語で自己紹介。待ちに待ったホストとの対面に一行は緊張しながらも、ホストの笑顔に安心したような表情を見せていた。ホームステイ中の日程や諸注意、緊急連絡先等確認を終え、それぞれのホストファミリーとともに各家庭に向かった。



翌10月6日は終日、各ホストファミリーとともに過ごしたが、後で聞いたところによると、世界遺産の日光見学、野球部の試合観戦、ショッピング、カラオケ、牛の品評会、酪農の手伝い等貴重な体験をしたようだ。また、日曜日は後述の通り、全員がホストファミリーの生徒とともに秋晴れの空の下、近郊見学を行った。



7) 那須塩原市内見学

那須塩原市滞在中、次の箇所を訪問した。

①ブリジストン栃木工場（先端技術）

日時：平成19年10月3日（水）14:00～16:00

説明者：赤芝吉彦総務部総務・環境保全課長、
奥田優子総務部総務・環境保全課

訪問内容：概要説明、英語ビデオ鑑賞の後、工場見学。ガラス越しではなく、直接間近に生産ラインを見学した。ゴムの焼けるような匂いの中、興味深く皆が見入っていた。

②黒磯清掃センター（環境、リサイクル）

日時：平成19年10月4日（木）9：40～10：15

説明者：相馬重富黒磯清掃センター所長

訪問内容：細かなゴミ分別システムの説明と現場を見学。煙突から出る煙のように見えるのは実は水蒸気という説明に感心。質問が相次ぎ、市担当者から「日本の高校生はこんなに質問しない」と驚かれる。

③カゴメ那須工場（先端技術と農業・環境）

日時：平成19年10月4日（木）10：30～12：00

説明者：村上満昭工場長、柳田美喜雄生産管理部総務担当課長

訪問内容：概要説明と英語ビデオ鑑賞の後、工場見学。オートメ化されたシステム、原材料となるトマトや人参もカゴメで研究栽培していることに、皆熱心にメモを取っていた。このメモは訪問する先々で多くの団員が取っていた。

④伊藤牧場（酪農、産業）

日時：平成19年10月4日（木）13：20～13：50

説明者：伊藤牧場長

訪問内容：本州で最も牛乳生産量の多い那須塩原市の代表的産業である酪農に一行も興味を示していた。乳牛を初めて間近に見た者、PNGの牛よりかなり大きいと驚く者等様々だが、牧草を牛の口に近づけてこわごわ食べさせたり、乳牛に近寄って写真を撮ったりする一方、牧場長より牛乳や乳製品の生産・販売工程、生産農家の現状などにつき説明を受けた。また、自家製の牛乳をふるまわれ、市販のものより濃くおいしいと、お代わりをする者が相次いだ。

⑤栃木県医師会温泉研究所附属塩泉病院（医療、福祉）

日時：平成19年10月4日（木）15：30～16：10

説明者：小山利子副院長兼看護部長

訪問内容：開設したばかりの最新医療施設。主にリハビリを中心とした入院患者が180人ほどいる。日本人でも羨むような施設、医療体制に質問が続く。

*その他、もみち谷大吊橋、塩原ビジターセンターを見学した。

⑥近郊見学（自然、歴史、文化、交流）

日時：平成19年10月7日（日）8：30～16：30

一行10人、ホストファミリー16人、市同行者2名、IFA同行者2名の総勢30名が一台のバスに同乗し近郊見学を行った。絶好の天候に恵まれ、バスの中では前日の行動を紹介し合ったり、談笑が繰り広げられた。各家庭だけでなく、10家庭の生徒、保護者、PNG参加者が互いの名前呼び合い、声をかけ合うなど二日前に初めて出会ったとは思えないほど互いに打ち解けた感があった。

午前中、冬はスキー場になるハンターマウンテン高原にロープウェイで上り、頂上付近を散策、那須連山を眺望。午後は、足湯、博物館等を回った。美しい日本の自然と歴史、文化に触れ、参加者、ホストファミリーそして担当者が一堂に会し交流を図るいい一日となった。

8) 那須塩原市主催お別れ会

日時：平成19 年10 月7 日（日）17：00～20：00

近郊見学終了後、一行は市内会場で開かれた市主催のお別れ会に出席した。ここでも、現地の民族衣装に着替えて登場。ホストファミリー、市、高校関係者等総勢約80 名の集まる中、同市佐藤課長の司会でお別れ会が始まった。まず、主催者を代表して栗川市長が、今回の外務省の事業に那須塩原市が参加できたことへの感謝、若者同士の交流の意義と大切さ、今回の相互交流を末永く続けてほしいという趣旨の挨拶を行った。続いて団長の御礼挨拶。さらにホストファミリー代表挨拶では母親が挨拶し、それを娘が通訳した。乾杯の音頭の後、食事・懇談に移った。

2 家庭ずつのテーブルに分かれ夕食。餅つきの実演に参加、杵を振るう。法被をお土産にもらう。一行は踊り、歌に加えて、女子がタイタニックをソロで披露。日本の生徒も世界に一つだけの花を披露。最後に全員の感想を発表。



- ・皆に会えてうれしい。きれいな町、おいしい食べ物、温かい人、すべてに感謝。
- ・農業と家族の様子が見られてよかった。
- ・家族のひとと牛の世話、乳搾りができてうれしかった。人との接し方を学んだ。
- ・那須塩原が大好き。帰りたくない。ホストは我が家のように。
- ・いろいろなところを見せてもらい、たくさんのことを学んだ。くつろいで過ごせた。
- ・美しい町。景色も人も食事も。ホストに感謝。農業従事者がスポーツカーを運転できるとは思わなかった。
- ・すべての人に感謝。言葉が見つからない。生涯忘れない。
- ・人も技術も素晴らしい。すべてが「きれい（日本語で）」写真をたくさん撮りたかったが、心に刻もうと思った。皆が尊敬の気持ちを持って接してくれたことがうれしい。
- ・参加できたことに感謝。人々が謙虚、丁寧に接してくれた。
- ・那須塩原市は日本を代表する市。道を渡ろうとすると車が停まってくれる。日本は組織化された社会で皆親切。感謝。

9) 外務省表敬訪問、座談会

日時：平成19 年10 月9 日（火）11：00～12：30

那須塩原市での交流を終えた一行は10 月8 日（月）、新幹線で東京に戻ったが、新幹線的那須塩原駅にはホストファミリーだけでなく、市、高校関係者が大勢見送りに来てくれた。その半数が、新幹線のホームまで見送ってくれ、名残惜しそうにいつまでも話し、抱き合う団員と家族、生徒の姿が見られた。

東京に戻った翌日、一行は外務省に宇野治外務大臣政務官を表敬した。同政務官からは本事業の意義と目的、日本とPIF 諸国との関係等が話された。続いて、団長挨拶、団員自己紹介の後、懇談に移った。最後に一行からの記念品贈呈、PNG 全員で歌の答礼、記念撮影を行い、政務官室を退室。会場を省内会議室に移し、引き続き報告会に臨んだ。



報告会は表敬訪問にも同席された大洋州課の中野大洋州課地域調整官、浜川事務官、小瀬古事務官に対し、那須塩原市での交流、本事業に対する印象や感想、要望等を話した。なお、IFA 及川事業部長も同席し、一行の質問に対応した。

10) 都内見学

来日2日目および9日目、一行は次の都内見学を行った。

- ・浅草、東京タワー、皇居、江戸東京博物館、葛西臨海水族園

(了)